

# 「ひきこもり」を抱える家族への支援

岩藤 裕美 / IWAFUJI, Hiromi

人間発達教育科学研究所

■専門分野 発達臨床心理学  
■キーワード ひきこもり、家族、支援、アウトリーチ

連絡先 iwafuji.hiromi@ocha.ac.jp

## 研究内容

### ■概要（背景・目的・内容）

ひきこもりの状態にある本人及びその家族等へ相談支援を、メールや電話、訪問の実践を通して行っています。そうした相談事例を集積し、ひきこもりの現状、ひきこもりに至る要因等（年齢、性別、不登校やいじめられた体験、ひきこもりの期間、きっかけ、随伴症状、及び相談時における家族や友人、社会との関係性など）について調査研究を行っています。また、訪問事例を通して、ひきこもりとなるプロセスや効果的な支援手法についての研究を行っています。

### ■応用・将来展望

ひきこもりという現象をめぐる本人や家族の体験について、明らかにしたいと思っています。支援を客観的に捉え、本人がひきこもりから立ち直る中で、介入がどのように体験されるのか、そして、どのような変化があって立ち直りへと向かうのか、本人と家族の相互的な変化について、検討していきたいと思っています。

### ■活動実績

ひきこもりの本人及び家族への相談活動（メール相談、電話相談、訪問相談）

## 主要研究成果

- 岩藤裕美 2015 訪問支援. 青木紀久代（編） ひきこもりサポートネット事業報告書 2014. 東京都. pp.47 - 53.  
岩藤裕美 2015 突然の喪失体験—子どもの突然の死から抑うつ状態となった母親—. 野村俊明・青木紀久代（編） これからの対人援助を考える くらしの中の心理臨床①うつ. 福村出版. pp.66 - 69.  
岩藤裕美 2015 要保護児童の家庭に対する支援の実践. 青木紀久代（編著） 実践・保育相談支援. みらい. pp.158 - 169.